

水と緑のある 安心して心豊かに生活できるまち

真崎地区 自治会だより

No.11

発行 平成26年2月25日
編集 真崎地区自治会
(企画総務部会)

電話 ☎283-4477

真崎コミュニティセンター
mas-comi@vill.tokai.ibaraki.jp

真崎地区において 防災訓練を実施!

平成24年9月に真崎地区自治会災害対策本部規約、細則が制定され、平成25年度には具体的に本部員、各班班長、班員の選定を進め、本部員会議、各班会議を重ねて、10月26日に防災訓練を実施しました。当日はあいにくの雨でしたが、自治会役員等を中心に200名以上の方が参加し、防災組織の機能確認、消防署の協力により三角巾の使い方、担架の利用、自家発電機と井戸の稼働、無線機の使用等を訓練しました。また、行政との協力で、飲料水の受水、配水訓練、いばらきコープの協力により非常食の受領、配食、炊き出し訓練等が実施されました。今後は単位自治会、行政、小中学校との連携を進め、真崎地区内の住民全員が安全に安心して暮らせる体制の確立を目指します。
(関連写真 3頁に掲載)



開会式



受付訓練

ワクワクFOODフェスティバル2014のご案内

ワクワクFOODフェスティバルが今年もやって来ます。みんなで食べることのすばらしさを体験しましょう。みなさんの参加をお待ちしております。

主催 真崎地区自治会 (真崎区自治会、舟石川三区自治会、原子力機構荒谷台区自治会)

日時 平成26年3月8日(土) 午前10時～午後2時まで

会場 真崎コミュニティセンター (雨天決行)

催事 お弁当作りコンテスト、革工芸教室、お抹茶席、ふれあい広場、村松小学校吹奏楽演奏など

FOOD とん汁、五目飯、石窯料理、綿あめ、ポップコーン、フランクフルト等々たくさん用意しています。

※マイ箸、マイバッグをご持参ください。

抽選会 恒例となりました**豪華景品の当る抽選会**も行います。

抽選券はFOODフェスティバル当日会場で配布します。

抽選券配布時間 午前10時～午前11時30分まで

抽選開始 午後1時30分～



昨年度の会場風景

*** 地区自治会及び各専門部会の活動 ***

地区自治会役員会及び運営委員会 水と緑のある 安心して心豊かに生活できるまち



役員会での審議

住み良いまちづくりを目指して活動しています。特に今年度は、地区自治会が中心となって、「道づくり検討委員会」を立ち上げ、改良路線の選定などを行いました。(3頁参照)
災害対策本部規約、細則にそって、防災訓練までの諸々の検討事項を解決し、部会へ引継ぎました。

安全・安心部会 犯罪がなく、災害に強い、助け合いのまちづくり

10月26日の「防災訓練」の実施にあたり、安全・安心部会が具体的な実施方法等について検討し、当日は、機器類の操作の指導を行いました。



無線訓練「どおぞ」



発電訓練

建設・環境部会 花と緑に囲まれた、快適で環境にやさしいまちづくり



古墳群側花壇



やぐら下

毎年、春と秋に行われる東海村主催の「花いっぱい運動」に合わせて、地区内の花壇に花植えを行なっていますが、今年は村小まつりと重なってしまったため、翌日11月10日にこども会・各種団体の方々と協力して植え付けを行いました。

農・工・商部会 地域連携による豊かな生活ができるまちづくり

企画・総務部会及び朝市運営委員会と合同で、毎月第3水曜日(真崎地区社協のふれあい食事会開催日)の朝市としめ飾り作り・餅つき大会など大きなイベントに合わせて新鮮な野菜の販売を行っています。



しめ飾り作り・餅つき大会にて

企画・総務部会 地域を愛し、人がつながるまちづくり



自治会だよりの編集会議

地区自治会行事の基本計画策定、部会間調整及び広報紙の編集を担当しました。広報紙は平成25年6月にNo.9、9月にNo.10に続き、本号を発行しました。
また、3月8日(土)に開催するFOODフェスティバルの企画等を行っています。

自治会加入世帯の増加に取り組めます!

真崎地区自治会 会長 大内 隆彦



真崎地区に住む人は、誰でも加入の意思表示をすればそれぞれの自治会に自由に加入できる権利があります。誰でも加入することのできる既存の地縁団体です。これから高齢化が進む中で、安心して暮らすには近所隣りとの付き合い、顔の見える付き合いが大事になるはずですが、以前のような冠婚葬祭の付き合いが少なくなり、ご近所との関係がますます疎遠になるはずですが。現実の問題として、新しく住居を構えた世帯がゴミをどこにも出せずに悩んでいます。自治会を構成している班(常会)は、同じ地域に住む人の共同体です。新しく地区の住民になった人にはどうか近所の人とは相談にのってあげてください。他人を生かせば自分も生かせるはずですが。お互いを生かしかねる真崎地区を皆さんで作っていきましょう。

●防災訓練風景(10月26日)



三角巾の使い方



担架の使い方



班別に移動



炊き出し



いばらきコープ救援物資搬入



食料の仕分け作業



受水槽を実際に使用

●「道づくり検討委員会」発足

平成25年12月に第1回の委員会が開催されました。つづいて現地調査、第2、3回の委員会を開催し検討を進めています。この道づくり検討委員会を立ち上げたのは、真崎地区が最初です。メンバーは地区自治会正副会長(三自治会長)、村松小学校・東海中学校PTA会長、村小教員、行政です。事務局は地区自治会が担っています。道路の新設、補修、改善等を住民、利用者の立場で検討し、優先順位を決め、それを道路行政に反映します。行政においてはこの決定を可能なかぎり実行することになっています。今年度は小中学校の通学路の改善を緊急課題として検討を進め、対応していきます。



福祉
部会

真崎地区社会福祉協議会

世代間交流会 (小学生との交流会)

H25. 10. 9

村松小学校4年生の45名の児童、75歳以上の高齢者74名、福祉部会45名に先生、PTA役員の方を含め総勢170名の皆さんが参加して、世代間交流会を開催しました。児童によるサプライズの寸劇、児童と高齢者が一緒に歌ったほか、昔の道具クイズなどをとおして会話が弾み楽しいひと時を過ごしました。特に、児童達がさっと立ち上がって肩たたきをしたときは、皆さんうれしそうにしていました。



ふれあい交流会会場



ハンドベルの演奏



お楽しみの昼食



「これからも長生きしてね」

長寿ふれあい敬老会

H25. 11. 1

永年社会に貢献し、真崎地区で生活をしてこられた高齢者の皆様に感謝と敬意の気持ちを込めて、「長寿ふれあい敬老会」を真崎コミセンと舟石川三区集会所の2か所を会場にして開催しました。

真崎コミセンでは口腔ケアを目的とした健口体操、懐かしい歌、紙芝居による民話、「日本ひょうきん踊りを楽しむ会」による日本古来の踊りなどを楽しみました。

舟石川三区集会所では、区民の皆さんが芸を習い、「和太鼓」「東海音頭」「フラダンス」「ひょうきん踊り」「カラオケ」など多彩な演目を披露しましたが、その芸達者(?)ぶりに大いに盛り上がりました。



真崎会場 紙芝居



舟三会場 フラダンス

真崎地区懇親座談会

H26. 2. 1

「みんなで考えよう! “まさきのふくし”」をキャッチフレーズに懇親座談会が開催されました。昨年実施した真崎地区住民アンケートの要望事項等から4テーマを選び、一般参加の方、役場職員、自治会及び社協関係者等49名がそのテーマごとに分かれて、お茶やお菓子を楽しみながら、井戸端会議の雰囲気の中で終始和やかに話し合いが行われました。提案いただいた意見等は、今後の活動に反映していきたいと思っております。



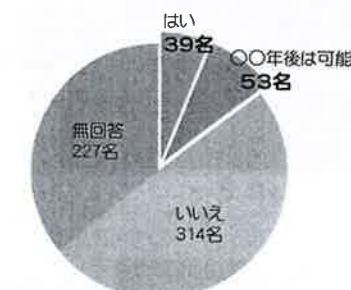
今後の地域づくりの参考に!!~真崎地区住民アンケート結果の一部を報告します~

25年4月に真崎地区住民アンケートを実施しました。アンケートの配布と回収に関しては、自治会・班長さんに多大にご協力いただき、907世帯に配布・回収をしていただきました。ここでは、アンケート結果の一部をご紹介します。

地区社協活動を担う「ふれあい協力員」について、今後協力いただけるかどうかを聞いた設問に対しては、即時、もしくは数年後には地区社協の行事に協力しても良いという方が90名近くにも上りました。全体の割合と比べると少数ですが、地域活動に興味を持っている方が多いことが分かりました。実際に興味はあるものの、「何をしているか分からない」「きっかけがあれば」といった声も寄せられており、周知や呼びかけなどの課題も浮き彫りになりました。

今後は、地区社協行事を広く周知し、誰でも気軽に参加できる行事を企画したいと思います。また、協力いただける方には、地区社協側から直接お誘いするなど、きっかけづくりにも力を入れてまいります。

ふれあい協力員に協力いただけるか?



スポーツ吹矢教室参加者募集

真崎地区社協保健部会では、今健康にも良いと大変人気のあるスポーツ吹矢教室を4月から始めます。

開催日時 平成26年4月3日から6月5日までの毎週木曜日 (全10回)

午前9時30分から11時30分

募集人数 先着10名

講師 佐藤勝廣先生、佐藤澄江先生

参加費 1,000円

申込方法 電話申し込み (先着順)

電話受付 3月1日から3月6日17時まで (3日を除く)、真崎コミセン (283-4477) で受け付けます。



スポーツ吹矢で楽しく、そして健康に……

教育 青少年育成東海村民会議村松支部

釣り大会

9月28日(土) 参加者総数 178名

中央排水路

朝から快晴で、多くの親子に参加していただきました。しかし、水が少なかったせいか、釣果はいまひとつでしたが、皆さん楽しんでいただいたようです。計測担当の役員さんは自転車ですばやく駆けつけ、大変好評でした。お手伝いいただいた方々、賞品の竿を提供くださった佐藤房明さん、手作りの計測器を寄贈してくださった高野久行さん、ありがとうございました。



開会式



釣ったぞー



やったね



なんセンチ？



大漁だ！

結果発表

大漁賞

- 1位 大内 優佳 さん 4匹
- 2位 萩野谷采音 さん 3匹
- 2位 米今 健人 さん 3匹
- 2位 川島 蓮 さん 3匹



大物賞

- 1位 鈴木 神楽 さん 15.6cm
- 2位 長友 陽奈 さん 13cm
- 2位 三木 俊英 さん 13cm
- 2位 高木 智矢 さん 13cm
- 2位 阿部 泰成 さん 13cm



しめ飾り作り・餅つき大会

12月14日(土) 参加者総数 230名
真崎コミュニティセンター

恒例となりました「しめ飾り作り・餅つき大会」が快晴のもと開催されました。多目的ホールでは、シルバー人材の指導員さんの分かりやすい説明をうけて、しめ飾り作りが行われました。

餅つきは、前はつき手が少なく大変だったとの声がありましたが、今年は東海中学の村小卒業生のほか、原電滝坂住宅の有志の方に多数参加していただきました。また、朝市運営委員会の方々が寒い中新鮮な野菜を格安で販売していただきました。皆さん、ありがとうございました。

なお、資源保護の目的からマイ箸持参をお願いし、割り箸を利用した方に募金(1,631円)をしていただきましたので、とうかい環境村民会議に寄附しました。ご協力ありがとうございました。



表彰者紹介

真崎地区では多くの方々が地域のために活動されております。これまでの活動が認められ多くの方々が表彰されましたのでご紹介いたします。



木村喜久雄さん



佐俣俊知さん



中野トキさん



佐藤幸子さん

平成25年度 真崎地区で表彰された方々と表彰名（敬称略）

| 表彰名 | 氏名 | 備考 |
|-------------------|--------|-------------------------|
| 旭日単光章 | 木村 喜久雄 | 平成25年 秋の叙勲 茨城県弓道連盟副会長 |
| 消防庁長官表彰 | 佐俣 俊知 | 永年勤続退職消防団員 |
| 関東地方更生保護委員会委員長感謝状 | 中野 トキ | 第52回茨城県更生保護大会 更生保護女性会員 |
| 茨城県社会福祉協議会会長表彰 | 佐藤 幸子 | 第63回茨城県社会福祉大会 民生委員、児童委員 |
| 東海村表彰 | 関田 弘子 | 民生委員・児童委員 |
| | 井坂 幸子 | |
| | 隈 強一 | |
| | 高野 久行 | |
| | 須藤 佐武 | 東海村文化財保護審議会委員 |
| | 加藤 啓子 | 村松ミニバスケットボールスポーツ少年団指導者 |
| | 高野 敏子 | 東海村華道連盟理事長 |
| | 塙 貴子 | 東海村技芸連盟理事長 |
| | 佐俣 俊知 | 元第7分団長 永年勤続退職消防団員 |
| | 海老原 安智 | 第3分団長 永年勤続消防団員 |
| 東海村感謝状 | 古川 政史 | 第3分団部長 永年勤続消防団員 |
| | 大内 英昭 | 行政相談委員 |
| | 佐藤 房明 | 舟石川三区自治会長 |
| 東海村体育協会功労者表彰 | 小泉 光生 | 原子力機構荒谷台区自治会長 |
| | 大内 正光 | 東海村スポーツ推進委員会委員長 |

村松小学校で表彰された方等をご紹介します。（敬称略）

| 表彰名 | 氏名等 | 備考 |
|---|--------|-----|
| 茨城県吹奏楽コンクール小学校の部 金賞 | 村松 小学校 | |
| TBSこども音楽コンクール 優良賞 | 村松 小学校 | |
| 平成26年度愛鳥週間用ポスター原画コンクール 日本鳥類保護連盟会長賞 | 須山 傑 | 6年生 |
| 茨城県小中学校読書感想文コンクール 優秀賞 | 物井 姫愛 | 2年生 |
| 茨城県読書をすすめる協議会 第11回読み聞かせコンクール 県教育長賞 | 小松 奏真 | 4年生 |
| みんなで教育を考える「茨城教育の日」標語表彰 推進協議会長賞 | 佐俣 茜 | 5年生 |
| 茨城県小中学校交通安全ポスター 優秀賞 | 石田 遼太郎 | 5年生 |
| 茨城県科学作品展 入選 | 須山 傑 | 6年生 |
| ひたちなか・東海広域事務組合 東海消防署 平成25年秋季火災予防ポスター 最優秀賞 | 安尾 帆夏 | 6年生 |

【編集後記】

私たちの生活する国土は、自然災害が発生しやすい条件下に位置します。災害を完全に防ぐことは不可能ですが、偶然この地域に暮らすことになった私たち住民が、命や財産を守るために知恵や力を出し合って、防災に向けての地道な努力により達成してゆけるものと思います。幸い真崎地区では、フードまつりや行灯まつりが行事として定着しており、今後、更に住民同士の結束意識が向上していくものと思われます。3年前のフードまつり前日は、大震災によって深刻な状況になりましたが、助け合う真崎の地域力で見事に乗り越えました。この原稿を考えながら「防災対策につながる地域活動が今後も継続されますように」と祈念したところです。 [K. I.]

*このたよりは、村の地域づくり推進事業、真崎地区社会福祉協議会、青少年育成東海村民会議村松支部の補助金等によって発刊しました。